様式２

平成２１年度再評価対象事業一覧表　（再評価実施後、一定期間（5～10年）が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業）
（対象：平成１６年度再評価実施事業）

番号	項目	事業名 (路･河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	ｺｽﾄ縮減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業継続)
１９	再評価時点	神野町八戸溝線街路整備事業	当該路線は、佐賀都心部と北西住居地域を結ぶ東西の補助幹線道路である。 しかしながら、現道は幅員狭小で歩道もなく、朝夕の通勤通学時は、慢性的交通渋滞が発生し、歩行者・自転車にとっても危険な状況である。 このため、当該事業により、早急な交通混雑の解消と歩行者自転車の安全確保を図るものである。	全体事業費：46.2 億円 全体延長　：1,023 m 計画幅員　：　18 m 工　　期　：H7～H19 事業認可　：H7～H19	H１５末進捗率　６６％ （事業費ベース） （年平均進捗率７．３％）	・交通量の増加 Ｈ６　8,429 台／日 Ｈ１１　9,475台／日	事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。 （現在） Ｂ／Ｃ ＝１．１	（コスト縮減） ・コンクリート二次　製品・リサイクル　材の積極的活用 ・建設副産物の有効　利用（ｱｽﾌｧﾙﾄ塊、　ｺﾝｸﾘｰﾄ塊の再生利　用） （代替案の検討） ・特になし	１０年以上 継　続	継　続
	現時点	同上	同上	全体事業費：48.2 億円 全体延長　：1,023 m 計画幅員　：　18 m 工　　期　：H7～H22 事業認可　：H7～H22	H20 末進捗率　94.4 ％ （事業費ベース） （年平均進捗率6.7%）	・交通量の増加 Ｈ６　8,429 台／日 Ｈ１７　9,587台／日	・将来交通需要の推計の見直し ・費用便益分析マニュアルの改訂 （現在） Ｂ／Ｃ ＝1.0	同上	再評価実施後５年が経過	継　続 現在も歩道未整備区間が残っており、事業目的である歩行者及び自転車への安全確保が達成できていない。用地取得はすべて完了し、残工事は少なく、H22年度で完了予定である。事業効果を発現するため、事業を継続する必要がある。
	理由等									